

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-17-04
事務事業名	ネットワーク維持事業	根拠法令・要綱等	
事業開始年度	平成13年度～	担当課(室)	企画課
大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	職・氏名	情報政策係長 谷本 隆二
中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	職・氏名	情報政策係長 谷本 隆二
小項目 施策	情報通信	電話	64-1812

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市の情報ネットワークを利用する市民、児童、生徒の皆様(狭義的には市役所、学校等)。
目的(何のために)	備前市情報ネットワーク(市内の行政施設や学校を光ファイバー又はADSLフレッツグループで接続した公共ネットワーク)の安定稼働の堅持。
行政活動(どのような方法で)	備前市情報ネットワークのハード面の維持。プロバイダ契約、自設線(光ファイバー)の保守・電柱添架、光ファイバー保険への加入などを行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市情報ネットワークの安定稼働。

事業の目的、対象、内容を考えて目的・意図の評価を行って下さい。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	通信運搬費(プロバイダ料等)	円	4,241	4,233	3,758
	光ファイバー保険	円	437	437	437
	自設線保守業務	円	7,426	7,553	7,420
	光ファイバー電柱添架料等	円	1,989	1,990	1,992
	直接事業費	千円	14,096	14,216	13,607
	人件費	千円	5,700	3,680	357
	事業費計	千円	19,796	17,896	13,964
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			75
	市債	千円			
	一般財源	千円	19,796	17,896	13,889
	必要人員	人	0.75	0.40	0.04
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	ネットワーク異常停止件数	説明	0	0	0
	結果指標量	件	0	0	0
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			
	通信機器異常発生件数	説明	2	2	1
	結果指標量	件	2	2	1
	対前年比	%	-	100.0%	50.0%
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
成果指標名	トラブル発生回数	式又は説明	情報ネットワークでのトラブル発生回数(ネットワーク全体規模の異常停止回数、島ハブのトラブルのような小さなものを除く)。
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	2	2	1
対前年比		100.00%	50.00%
到達目標値	0	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	A
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	現在の行政運営上、ネットワークの安定稼働は欠かすことができない。出先機関との通信も含まれるため、障害時には基幹系業務にも影響を及ぼすため、必要不可欠な事業である。	
	事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	事業の意図する成果	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	
	市民ニーズ		
市の関与	市が関与しなければならない事業である	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	
	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率的評価<A-E>	B
	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
手	サービスを低下せずにコストを低減することは困難	合併前の合計額よりは減っているものの、プロバイダ料、光ファイバー保険料、自設線共同保守料など固定的な費用が多く、直接事業費の削減は難しい。業務量報告により、従事時間の把握精度が高まったため、人件費については大幅に減少している。	
	受益者負担額を見直す余地がある		
職	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	事業に関するOJT(職場研修)は行われている	
	事業実施について、職員の意見・要望が反映しやすい		
目的達成度	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A-E>	B
	成果指標は前年度より向上している	課題認識	
成果向上の可能性	成果は向上しており今後も向上する見込みである	県の情報ハイウェイ工事に伴う予定された回線断は発生したが、行政運営に支障をきたすような大きなトラブルは発生しておらず、事業の成果は果たしている。	
	今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度	事業について積極的に情報提供している	事業実施等で積極的に市民意見を反映している	
	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況				
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	説明 今年度も事業構成は同様で、概ね前年どおりの事業を行っている。事業費については鋭意減額を意識しつつ、備前市情報ネットワークの安定稼働に努めている。		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了			
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している				
目標値	結果指標量	0	結果指標量	0
	成果指標量		0	

総合評価	評価区分<A-E>	B
行政運営上、ネットワークの安定稼働は市行政(職員ポータル・財務会計等)や学校運営に欠かせない基盤である。基幹業務にも影響を及ぼすため、安定稼働の堅持は最優先されるべきものである。		

平成21年度以降の方向性		
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	事業費の見直し・削減要求	H21年度～	直接事業費の削減